

## 低炭素都市シンポジウムのご案内

シンポジウム名称：低炭素都市の実現へ向けての解析

日時：2009年7月24日（金） 13時00分～17時40分

場所：東京大学本郷キャンパス・弥生講堂(別名：一条ホール) (東京メトロ東大前駅徒歩3分)

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_00\\_15\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_15_j.html)

主催団体：東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)、国立環境研究所

協賛：環境科学会、土木学会、日本建築学会、エネルギー・資源学会、空気調和・衛生工学会、日本エネルギー学会、電気学会

趣旨：低炭素社会を構築するためには、人間の活動の場である都市を低炭素型に変えていく必要があります。本シンポジウムは、東京大学および国立環境研究所が構成機関となっているサステナビリティ学連携研究機構(IR3S)の活動の一環として、平成16~20年度に行われた環境省地球環境研究総合推進費 戦略研究開発プロジェクト(S-3)「脱温暖化2050プロジェクト」のうち、都市に関わる研究成果の一端を公開いたします。低炭素都市の解析と実現に携わる実務者及び研究者の方を始め、どなたでも参加を歓迎いたします。

プログラム：

13:00-13:20 低炭素都市の戦略と解析の特徴(東京大学・花木啓祐)

13:20-14:00 ゲスト講演

低炭素社会へのエネルギー戦略(株式会社システム技術研究所・槌屋治紀氏)

14:00-14:20 住宅および業務建物からのCO<sub>2</sub>排出量削減(慶応義塾大学・伊香賀俊治)

14:20-14:40 太陽光発電システムの導入と効果(信州大学・高橋伸英)

14:40-15:00 都市静脈系施設における温室効果ガス削減(東洋大学・荒巻俊也)

15:00-15:20 休憩

15:20-15:40 地域冷暖房の効果の解析(東京理科大学・森俊介)

15:40-16:00 分散エネルギーネットワークの導入効果分析(日本工業大学・石田武志)

16:00-16:20 DOMEによるインタラクティブな解析(東京大学・Steven Kraines)

16:20-16:40 需要端での新技術普及と電力系統の長期シナリオ(東京大学・藤井康正)

16:40-17:00 交通分野の地域類型別対策によるCO<sub>2</sub>大幅削減策(国立環境研・松橋啓介)

17:00-17:20 地域間物流の変化に伴うCO<sub>2</sub>排出量の変化(東京大学・吉田好邦)

17:20-17:40 総括と閉会

参加費：無料

参考資料：「低炭素都市の実現へ向けての解析」

[http://2050.nies.go.jp/material/2050\\_LCS\\_urbanleaflet\\_20090208.pdf](http://2050.nies.go.jp/material/2050_LCS_urbanleaflet_20090208.pdf)

問い合わせ先：東京大学工学系研究科都市工学専攻 花木啓祐(サステナビリティ学連携研究機構兼任教授) [hanaki@env.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:hanaki@env.t.u-tokyo.ac.jp)

事前申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。ただし、満席の場合はご容赦ください。